

生姜部会

契約栽培で出荷は12月上旬まで



11月に、ショウガの収穫最盛期を迎えました。生姜（しょうが）部会のショウガは全て契約販売で、加工用、青果、種ショウガとして出荷します。契約先の定着で価格も安定。出荷量は70トンを見込んでいます。28戸で、3.8haを栽培。収穫されたショウガはコンテナ（1コンテナ15キロ）で北営農センターに持ち込まれ、倉庫で貯蔵し、契約先へ随時出荷します。洗いや箱詰めの手間が省け、農家の労力軽減にもなっています。11月で収穫を終え、12月上旬までの出荷です。

近年の猛暑により、高温障害や病気の発生もあり、栽培環境は大変厳しくなっています。生産現場に寄り添った対策を行い、産地継続が出来るように生産者の意識や環境を整えていきたいと思います。

指導担当：後藤 真智 販売担当：橋口 裕幸

花卉部会

いい夫婦の日に特製シールでアピール



11月22日の「いい夫婦の日」に向けて、出荷箱に「いい夫婦の日はカスミソウ」の県下JAグループ特製シールを貼って、カスミソウをアピールしました。カスミソウ専門委員会は、地域に合った品種の栽培試験や現地検討会、日持ち試験を重ね、品質向上と日持ちのいいカスミソウを心がけています。専門委員会では、部会員全員の品質を均一化するための出荷前検査の強化で、さらなる品質保持に努めており、菊池のカスミソウは日持ちがよいと消費地では高い評価をいただいています。

県内産地、市場、販売店が協力してPRしています。福岡での販売促進会も行いました。定期注文も増え、相対取引も開始。フラワーアレンジ用の染めカスミの注文もあります。

指導担当：富田 惇志 販売担当：渡邊 公仁